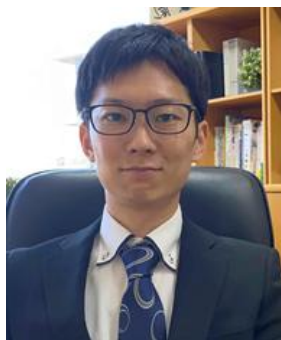


社会・文化・教育



キーワード：生徒指導，教育心理学，ストレスマネジメント

問題行動を起こす子どもへの心理学的アプローチ

全学教育機構 教職支援センター 講師
西村 晃一 NISHIMURA Koichi

研究の内容

文部科学省の調査によると，児童生徒のいじめや暴力行為の発生件数は増加傾向にあり，憂慮すべき状況です。そのため，問題発生時の援助と同等以上に，問題行動を起こさせない取組が必須となっています。中学校教諭の経験を活かし，現在は問題行動の未然防止について研究しています。

■研修・講演会

- ・コロナ禍の不登校児童生徒への心理学的対応
- ・子どものアンガーマネジメント
- ・生徒の学び方改革－生徒指導提要に着目して－

於：京都府城陽市【学校地域連携全体会】

於：大阪府枚方市【小学校教員対象】

於：大阪府岸和田市【中学校教員対象】

など多数

子どもの問題行動を抑止するためには，ウェルビーイング（心身ともに健康で幸福な状態）の向上が必要不可欠です。一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せの実現を目指し，理論と実践の往還を重視して参ります。



講演会の写真
(2022.8.3)



月刊生徒指導寄稿
(2024.5.13)

産学連携・社会連携へのアピールポイント

- 対象：小～高校生，教員，企業を対象に研修や講演会をご提案させていただきます。
- 内容：ストレスマネジメント，アンガーマネジメント（怒りのコントロール法）
子どもの犯罪・非行など幅広く知見をお届けします。
- 資格：公認心理師（国家資格），中高教員免許状（数学・専修）



研究者総覧（西村 晃一）

URL：https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000687_ja.html

